

磐城時報

編輯 磐城石城郡平町野田十四
印刷 磐城石城郡平町野田十四
發行 磐城石城郡平町野田十四
電話 磐城石城郡平町野田十四
廣告料 一月四角 三月一元 半年二元 一年四元
印刷部 磐城石城郡平町野田十四
電話 磐城石城郡平町野田十四
發行部 磐城石城郡平町野田十四
電話 磐城石城郡平町野田十四

平方面の自動車 成績が一番悪い

大切な人命を預けられぬこと 今後嚴重に取締る

縣では過般縣下一般の自動車検査町村の附加税も多少の差はあれ検査を行ったが、その結果を仄聞し、四十圓乃至五十圓で双方合算すると次の如くである。

「福島、信夫、伊達を除く外は全部検査が終了したが、遺では俄に月の純益四五十圓ありを見ればならぬ、これに植田署は乗用車に多いので直に廢車等を除く場合は利益どころで實に四千圓の激減となるに充分修理をなさしめるものでもすれば莫大な損失を蒙らねばならぬ」

夏期の飲料水は 不時に検査を行ふ

平警察署の方針

眞夏が来たかと思ふ雨が降つておきものでないことを知り特に來て早くも梅雨期に入つたの夏期中検査を再行することに決めた。

「季節は一年のうち一番傳染病が流行しやうけつし、幾多の糞菌を出す時になつてゐるので平署衛生係では各町村に通牒を平署管内で水屋さんの營業許可證してその撲滅を期してゐるが、このほの八十度以上の暑さの傳染病の發生はその大部分でめつきり多くなつた三日まで、この一ヶ月乃至四ヶ月の期間に多いので、この間に留意し、盛況、それに續いてアイスクリン、付廢車を出すに至つたため、この間に飲料水検査の必要を認め、過般來執行中だつたが、あるき子供を相手に商賣してゐるが、持上がつたといふのは、乗用の結果おびたしい不良品を押さへるもの男女三十人の多きに上り、八十臺とすれば四千圓、これに料水の検査は一度だけに止めてを擧げてゐる。」

税金激減

平、四倉署管内の自動車検査成績は既報の如く乗用車中八十臺近くの一ヶ月乃至四ヶ月の期間に多いので、この間に留意し、盛況、それに續いてアイスクリン、付廢車を出すに至つたため、この間に飲料水検査の必要を認め、過般來執行中だつたが、あるき子供を相手に商賣してゐるが、持上がつたといふのは、乗用の結果おびたしい不良品を押さへるもの男女三十人の多きに上り、八十臺とすれば四千圓、これに料水の検査は一度だけに止めてを擧げてゐる。」

四十六歳になつて 徴兵検査の出願

三十年間流浪して歸つた 純朴な一労働者

五日午前十時頃労働者風の男が平署兵事主任橋本部長を訪れ四十六歳になつたが徴兵検査を受けられませうかと願ひ出でた、係官の問ひに對し彼は次のやうに述べた。

「現在私は石城郡神谷村大字片寄に住んでゐた田中純義(四十六)と申す者で本籍は平町字もの、芽ののびの力を感しみてそこはかたなく朝露おむも繪筆とるたぐみのわが朝薄がすむ尼子のかた朝汽車は悲喜ともくを乗せて南す古河や其の名におへる水中にさ青き藻ゆれて魚おる見ゆ文字書虫のたえなきあゆみありの目を見せむとて書き毒いちご赤きま玉に露ふくみ誰を待つらん五月の空に寂びて立つ麓の寺の權行かわが心打つあかき鐘の響花花香はしの蔭にいたきとげ人の心の冷たさに似て。」

「盤草葉末にひかる白き玉のさゆれを見れば物もはめやも選挙草咲きしけるなかに身をあげばなほ夢まじき明けのひときき。一九三〇、五、二五」

道匠小路卅番地なのですがこの年になるが徴兵検査を受けないのです、男子と生れ日本國民として兵役の義務を果さなければ申し譯がないと常に思つてゐた、今日まで延び

郊外早曉

萩原たけ

四倉海岸から驛まで 鮮魚運搬の道路

石城郡四倉町では驛前から中町を貫通する新道路を開鑿したる海岸から直接驛まで鮮魚を運搬する完全な道なきので同町長長谷川漁業組合長等が發起となり、海岸から新町、須賀を通り、コンクリートの鮮魚運搬道路を造る事になつたが、コンクリート道路が出来れば獨り鮮魚運搬に便益のみでなく夏期海水浴客にも非常に便利を與へる事になるので非常に此の道路改修は町民から喜ばれてゐる。

私が失職した原因は、濱口ケチンボウ内閣の出現がその最大をなしてゐることを特に申上げて置きます、何故私の失職と内閣總理大臣濱口雄幸とが因果關係があるかと申しますれば濱口雄幸が「國民に訴ふ」等といふレコードで公私經濟の緊縮、産業合理化の宣傳で私が雇はれてゐる或る鐵工場の経営者がいたく濱口首相の舌一寸に乗せられて、早速産業合理化といふ奴を實行して人員の一大整理を行つた、その大ナダで減らされたの、中の一人が外ならぬ私です。

失業者の言

(失業者)

私はつひ三ヶ月前に失業し妻子眷族五名をつれ、十余年住みなれた東京から追はれて

自動車の五臺

四倉市場で用意

石城郡四倉市場では來る九日から十六日まで春駒出盛り中五臺の貨物自動車を常備し同市場を中心として約五里四方における出張格付の商を運送することになった。

酌婦の搜索願

茨城縣那珂郡額田村飲食店鈴木カッ方抱酌婦ツヤ子事志村シモ(二八)は去る六月四日前借金二百二十圓を踏倒し周旋屋小豆畑源之助と共に逃走したので平署に搜索方を願ひ出でた。

